

明石公園市民談義所（仮称）について

理念

- ・明石公園には、豊かな自然環境、先人から受け継いだ文化財、健康と生きがいのためのスポーツ施設、学びと探求のフィールド、そして県民の日常の憩いと安らぎの場といった多様な価値があることを認め、すべてを大切にしていきます。
- ・明石公園に新しい価値が生まれることも積極的に受け入れ、育んでいきます。
- ・ありとあらゆる立場や考え、個性の人びとが参加できるように、場所や日時、プログラムについて工夫を凝らします。
- ・談義の場には、「明石公園を愛し、よりよい公園づくりのために自ら行動する者」として参加します。
- ・談義では、お互いを認め合い、信頼し、共感する姿勢をもちながら、それぞれの立場から率直に発言し、建設的な提案を行います。
- ・公園づくりにかかわる話し合いの内容や結果に関する情報は常に公開し、透明性の確保に努めます。
- ・上に書かれた理念が守られていない場合は、参加者どうしで声がけをするなどして、「よりよい明石公園をつくる」ための場の安全性を担保します。

3つの役割

1. 明石公園にかかわるすべての人が、明石公園のことについて自由に「談義」する。
2. 明石公園の現状や、個々の実践を共有し、いろんな情報や人が「マッチング」する。
3. 一緒にできること、明石公園のために取り組まなければならないことを「企画」する。

特定協働プロジェクト

談義所で対話した結果として、明石公園に関わる人や団体、組織が横断的に協働による取り組む必要があるテーマについて「特定協働プロジェクト」と位置付けて、談義所でその経緯や成果を共有しながら、

運営体制

兵庫県、明石市、明石公園指定管理者、コーディネータがそれぞれフラットな関係で、「運営チーム」を結成し、談義所の企画や調整・運営に従事する。

将来的に設置予定の協議会との関係

談義所での議論について、公園全体の管理・運営にかかわる重要な事項は、コーディネータの責任で協議会、および管理者である兵庫県に報告する。

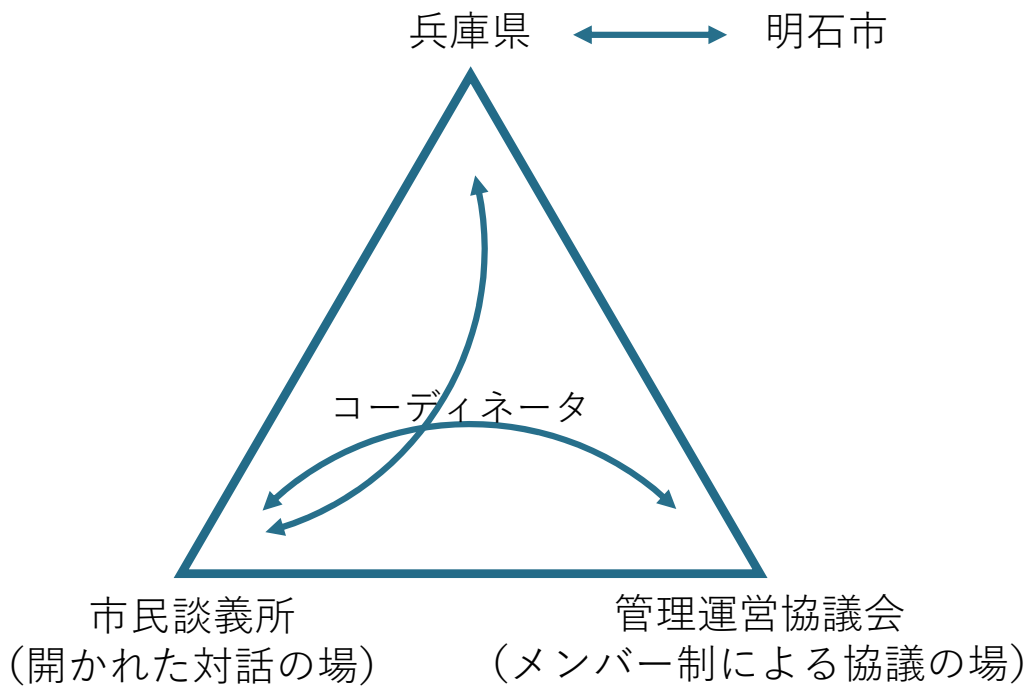


図1 明石公園における協働のトライアングル

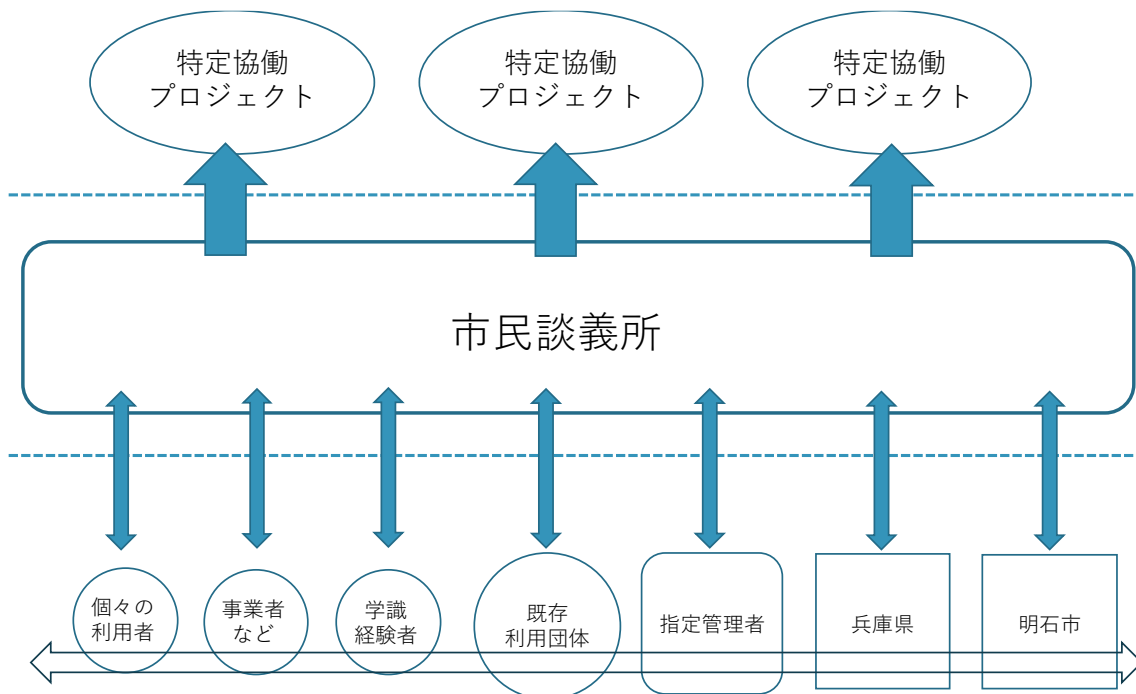


図2 プラットフォームとしての市民談義所のしくみ